

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和2年度）

1 支援の内容及び効果等

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援状況
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援状況
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援状況

評価	左記の理由
B	・ コロナ禍によって地域活動が停滞する中、各地域における取組や好事例の共有、区が示した感染防止のためのガイドラインに沿った事業実施への支援など、活動再開に向けた対応策についてのサポートを行った。 ・ 地域活動協議会補助金ガイドブックの見直しや、補助金の取り扱い変更に係る支援など、地域の負担軽減につなげるとともに、会計事務の適正な執行に向けたサポートを行った。

評価項目

「事業の実施体制等」

- (1) 自由提案による地域支援の支援状況（実績）及び効果等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況

評価	左記の理由
B	・ 業務責任者（アドバイザー）と支援員による支援体制にて、地域からの相談にもきめ細やかに対応できている。また、地域事業や地域会議にも積極的に参画し、地域実情・課題の把握に努めるとともに、区との定期的なミーティングにより情報・課題の共有が十分に図られている。 ・ マンション住民向け防災イベントや地域清掃イベント、やさしい日本語による防災セミナーの開催など、参加者間のゆるやかなつながりを促す場の提供と、地域との新たなマッチングの機会づくりを積極的に行った。

2 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

アンケート調査

評価	左記の理由
B	・利用者アンケート調査では、「まちづくりセンター等は、地域の実情やニーズに即した支援を実施していると感じる割合」（90.1%）など、高い割合を維持している。

3 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	・ICTを活用した地域交流事業やオンライン会議、書面表決への支援など、地域活動が新たな生活様式の変化にも停滞することなく柔軟に対応できる基礎付けとなるようなサポートを行った。 ・区の特性・課題を十分理解し、企業や学校・団体等と地域ニーズとのマッチングを試みるなど、多様な協働による地域づくりを推進していることは評価できる。

(評価基準)

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。